

ワンツースリー One23

東京23区が
見える。
わかる。

Vol.32

2018
SPRING

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

23区春に おすすめ スポット

- クマなくさんぽ
…哲学世界を視覚的に表現した
『哲学堂公園』
- とくべつクマ特別調査 23区の1・2・3
…都市公園(都立+区立)数ランキング
- 所蔵資料蔵出し
…『日本国憲法審議要録』
- これ、なんの数字?? …439,959人
- 新宿区立「漱石山房記念館」
紹介展示を開催します

答えは中面に!

都市公園
(都立+区立)が
一番多い区は
どこでしょう?



Question

とくべつクマ®



23区 春におすすめスポット

墨田区

隅田公園

公園内には水戸徳川邸の遺構を利用した庭園があり、桜の季節以外にも散歩コースとしてにぎわっています。

墨田区向島1-2-5丁目
☎03-5608-6930 広報広聴課

豊島区

門と蔵のある広場

染井吉野桜発祥の地と言われる駒込にある広場。春には広場とその周辺が満開の桜でいっぱいになります。

豊島区駒込3-12-8
☎03-4556-2533 広報課

千代田区

千鳥ヶ淵周辺

北の丸公園の西側にある「千鳥ヶ淵」の周辺には、ソメイヨシノを中心に約400本の桜が咲き誇ります。

最寄駅：九段下駅
☎03-3556-0391 一般社団法人千代田区観光協会

中央区

桜と隅田川の眺望を楽しめる「石川島公園」

中央大橋からパリの広場をはさみ相生橋まで約60本の桜が花を咲かせます。パリの広場から見る永代橋や対岸の新川公園の桜も見どころです。

中央区佃2-1-5 石川島公園
☎03-3546-5216 広報課

港区

青山霊園

各界の著名人が眠る23区内最大の霊園。300本以上という桜並木と霊園開設当時の豊かな自然を楽しむことができます。

港区南青山2丁目一帯
☎03-3578-2036 港区企画経営部長室広報係

目黒区

回遊式のお花見が大人気です!

品川区

目黒川の桜

目黒川お花見クルーズが大変好評です。無料アプリ「わ!しながわ巡り(コソシル品川)」を使ってお花見スポットを巡ってみましょう。

目黒川沿い(西五反田4丁目～東品川1丁目)
☎03-5742-6043 広報広聴課シニアプロモーション担当

江東区

江戸時代から藤の名所 亀戸天神社

毎年4月下旬から5月上旬に「藤まつり」が開催。都内随一の藤の花は一見の価値あり!

亀戸天神社(江東区亀戸3-6-1)
☎03-3647-2299 広報広聴課広報係

渋谷区

桜丘町さくら坂桜並木

渋谷駅西口から程近い、桜並木がアーチのように道路を彩る人気のスポットです。

渋谷区桜丘町
☎03-3463-1287 広報コミュニケーション課

文京区

播磨坂さくら並木

約120本のソメイヨシノに加え、淡い黄緑色で八重咲きの鬱金(うこん)桜などのめずらしい桜も見られます。

文京区小石川4丁目・5丁目境
☎03-5803-1174 アカデミー推進課観光担当

新宿区

神田川さくらのライトアップ

神田川面影橋付近等でさくらのライトアップを行っています。遊歩道を散策しながら美しい夜桜が楽しめます。

新宿区西早稲田3丁目
☎03-5273-3924 みどり公園課

目黒川の両岸を彩る約800本のソメイヨシノ。上流から下流までの3.8km全てがお薦めスポット。

目黒川沿い(大橋1丁目～下目黒2丁目)
☎03-5722-9621 企画経営部広報課

目黒川お花見クルーズが大変好評です。無料アプリ「わ!しながわ巡り(コソシル品川)」を使ってお花見スポットを巡ってみましょう。

目黒川沿い(西五反田4丁目～東品川1丁目)
☎03-5742-6043 広報広聴課シニアプロモーション担当

毎年4月下旬から5月上旬に「藤まつり」が開催。都内随一の藤の花は一見の価値あり!

亀戸天神社(江東区亀戸3-6-1)
☎03-3647-2299 広報広聴課広報係

渋谷駅西口から程近い、桜並木がアーチのように道路を彩る人気のスポットです。

渋谷区桜丘町
☎03-3463-1287 広報コミュニケーション課

約120本のソメイヨシノに加え、淡い黄緑色で八重咲きの鬱金(うこん)桜などのめずらしい桜も見られます。

文京区小石川4丁目・5丁目境
☎03-5803-1174 アカデミー推進課観光担当

神田川面影橋付近等でさくらのライトアップを行っています。遊歩道を散策しながら美しい夜桜が楽しめます。

新宿区西早稲田3丁目
☎03-5273-3924 みどり公園課

北区

日本の都市公園100選にも選ばれた「音無親水公園」

今年は幻想的に桜をライトアップ。期間中は、商店街やレストランとコラボしたキャンペーンもお楽しみください!

北区王子本町1-1-1先
☎03-5390-1166 一般社団法人東京北区観光協会

杉並区

桜並木と善福寺川のコラボ! 「善福寺川緑地」

善福寺川に沿って約400本の桜が植えられています。春のお花見や写真撮影におすすめです。

最寄駅：西永福駅、浜田山駅
☎03-3312-2111 広報課

中野区

歩きながら花見が楽しめる「中野通り」

中野駅から哲学堂公園まで続く中野通りの桜並木。途中の新井薬師公園や終点の哲学堂公園内の桜もおおすすめです。

中野通り沿道(中野・新井・松が丘)
☎03-3228-8804 政策室広報分野

台東区

サクラと東京スカイツリー®のベストビューポイント! 「台東区立隅田公園」

台東区立隅田公園では、500本以上のサクラと東京スカイツリー®と隅田川を一度に見ることができます!

台東区花川戸1-1～今戸1-1
☎03-5246-1321 公園課

世田谷区

世田谷公園

桜やつつじなど春を感じられる草花が咲き乱れ、大人も子どもも楽しめる憩いの場所です。

世田谷区池尻1-5-27
☎03-3412-7841 世田谷公園管理事務所

大田区

桜の名所! 多摩川台公園

多摩川を見渡せる高台にある公園で、古墳の散策も楽しめます。見所豊富な多摩川台公園でのお花見はいかがですか。

大田区田園調布1-63-1
☎03-3726-4320 調布地域基盤整備事務所

荒川区

200本以上のシダレザクラが楽しめる桜の名所「尾久の原公園」

桜の花びらが美しく舞い踊る中、4月7日(土)にシダレザクラ祭りを開催します。

荒川区東尾久7丁目
☎03-3802-3111(内線2752) 防災都市づくり部道路公園課

板橋区

区の花「ニリンソウ」が咲き誇る赤塚エリア

白い花を2輪ずつ咲かせるニリンソウ。都内最大級の自生地「都立赤塚公園」や「赤塚植物園」などで楽しめます。ぜひお越しください。

板橋区赤塚5-17-14
☎03-3975-9127 赤塚植物園

練馬区

バラの香りを楽しむ庭～四季の香ローズガーデン

5月中旬から下旬は春バラの季節です。約180品種のバラとその香りをお楽しみ下さい。

練馬区光が丘5-2-6(四季の香公園内)
☎03-6904-2061 四季の香ローズガーデン事務局

足立区

舎人公園

池や芝生の丘が広がる園内には千本の桜が咲き誇り、ゆったりとお花見が楽しめます。

足立区舎人公園1-1
☎03-3880-5803 シニアプロモーション課

葛飾区

堀切菖蒲園

200種6,000株の花菖蒲が咲き誇る堀切菖蒲園が、平成30年4月にリニューアルオープン。6月上旬頃から「葛飾菖蒲まつり」も開催。

葛飾区堀切2-19-1
☎03-3693-1777 都市整備部公園課管理運営係

江戸川区

南北約2キロメートルの桜並木「小松川千本桜」

その名の通り、1,000本を超える桜が荒川の堤防を彩ります。中ほどにはバーベキュー場も。

江戸川区小松川1～3丁目地先
☎03-5662-0403 広報課編集係

もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約9万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

こんなことやるよ



新宿区立漱石山房記念館紹介展示 【新宿区立漱石山房記念館-新宿が生んだ文豪・夏目漱石-】

「漱石山房記念館」は、夏目漱石が作家生活11年間のうち9年間で過ごした新宿区早稲田南町の終の棲家「漱石山房」の跡地に、平成29年9月24日に開館しました。

今回の展示では、「漱石山房記念館」の紹介をはじめ、数々の代表作が生み出され、文学サロンが開かれた「漱石山房」の紹介も行います。また、新宿区夏目漱石コンクール絵画部門受賞作品の展示・放映、漱石ゆかりの地の紹介など、見どころ満載な展示となっております。

新宿区の新たな名所として誕生した「漱石山房記念館」の魅力と、漱石の世界をぜひお楽しみください。



展示スケジュール

開催日 平成30年5月15日(火)~6月21日(木) (日曜・祝日を除く)
展示時間 平日 9:00~20:30 土曜日 9:00~17:00
会場 東京区政会館 1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1)



漱石山房記念館 案内

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
休館日 毎週月曜日(休日の場合は、直後の休日でない日) 年末年始
観覧料 一般300円、小中学生100円
※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額
※特別展等の開催時の観覧料は、内容により変わります。
※障害者手帳をお持ちの方は、受付にご提示いただくと、無料になります。

所在地 新宿区早稲田南町7番地
最寄駅 東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩10分
都営大江戸線「牛込柳町駅」徒歩15分
都営バス(白61)牛込保健センター前 徒歩2分
電話番号 03-3205-0209
公式HP <http://soseki-museum.jp>

おすすめのほんだよ

所蔵資料 蔵出し

歴史的資料を読み解いてみよう!



「日本国憲法審議要録」

昭和22年
(1947年)発行

問 地方自治の本旨というのはどういうことでしょうか。

立法の趣旨、法の精神

私たちは憲法や法律を守り、また守られながら日々生活をしています。法は万人に平等ですが、一方で、法の条文を読んだだけでは人によって解釈の仕方に差が出てしまうことも事実です。

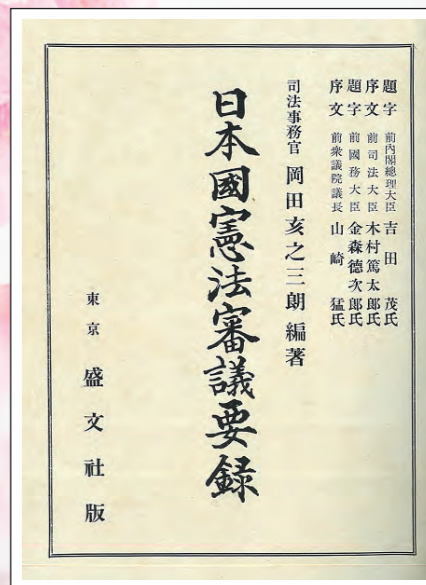
裁判においても、法の解釈が争点になることがあるため、立法の趣旨や法の精神から理解を深めることは、法を扱う上でとても重要なことだといえます。

憲法制定時の国会審議録

今回ご紹介する「日本国憲法審議要録」は、憲法の正しい精神、正しい解釈を学ぶにはうってつけの資料です。

日本国憲法の成立過程では、国会で100日以上にわたって慎重に審議が重ねられたため、その審議録は膨大なものとなっています。

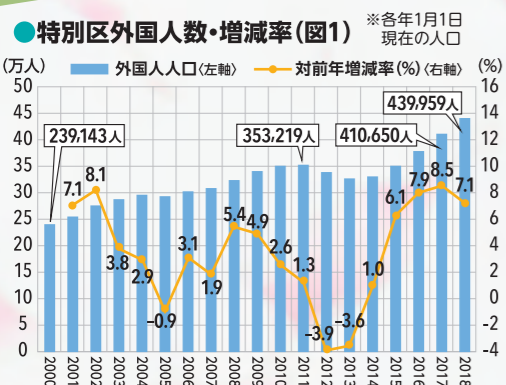
この憲法のエッセンスがぎゅっと詰まった審議録から重要な部分を抜き出し、条文ごとにQ&A形式でまとめられたのが本書です。新憲法の目的を国民が理解し、普及の一助になるようにとの願いが込められ、当時司法省の事務官であった岡田亥之三郎氏の手により編さんされました。



これ、なんの数字??

特別区に関するトピックを数字から読み解いてみよう!

439,959人



この数字は2018年の特別区における外国人人口です。外国人人口は2017年から40万人を超えています。図1は、2000年以降の特別区の外国人人口の推移です。外国人人口は2011年までは緩やかに増加傾向を辿ってきましたが、2011年をピークに一旦減少したのち、2014年から増加に転じ、以降高い伸びを示しています。2018年の外国人人口を2000年と比較すると、約18万人の増となっています。

また、2017年から2018年における増加状況を図2でみると、人口総数・日本人人口ともに微増していますが、外国人の増加率が大きく上回っています。増加数でも外国人は約3万人の増で、全体の増加数の約3分の1を占めていることがわかります。この人口増加に占める外国人の割合を区別に見ると、中野区(70.2%)、足立区(69.5%)、豊島区(68.7%)をはじめとして5区が50%を超えており、外国人の増加数が全体の増加数に大きく寄与していることとなります。一方で、千代田区(10.0%)、品川区(10.1%)のように10%程度の区もあり、区によって人口増加の状況が異なっていることもわかります。

このように見てくると、区によって状況の違いはありますが、特別区における外国人は近年増加傾向が顕著であり、人口総数の増加にも影響を及ぼしているということがわかります。今後も外国人人口が増加していくかどうか興味深いところです。

特別区人口増加状況(2018年-2017年)(図2)

	人口		増加数	増加率(%)
	2017	2018		
特別区総数	9,302,962	9,396,595	93,633	1.0
日本人	8,892,312	8,956,636	64,324	0.7
外国人	410,650	439,959	29,309	7.1

※出典:特別区統計情報システムより算出

※外国人人口は2012年までは外国人登録者数に基づく人口。2013年からは住民基本台帳に基づく人口。

問の答

さて、旧憲法では、地方自治に関する規定がなく、中央集権的な体制が取られていたため、現行憲法では新たに地方自治に関する条文が盛り込まれています。第92条には「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。」と書かれています。

この「地方自治の本旨」とは一体どういう意味なのでしょう。当時の国会議員も、冒頭の「問」とおり質疑をしています。これに対する政府の回答は次のようなものでした。

答 (中略)国家というものと無関係において自治を考えることができるということが一つの角度となると思います、
(中略)自己の区域内におきまして、また自己の支配する人の範囲におきましては十分なる自治を認めて、国家から故なく干渉すべきでないという一つの原理が生まれてくると思います、
(中略)人間の個性を尊重して、そのものの自主的な政治行動ということを眼目としなければならぬということも考えられております、
これらの全てのことを総合いたしまして地方自治の本旨という(中略)



1ページ目に刻まれた吉田茂氏の題字

憲法の解釈

憲法の解釈を巡っては、制定当時から現在に至るまで、数多くの議論が重ねられ、さまざまな学説が唱えられていますが、それはあくまで私的な見解が入った解釈です。

本書では、立法の成立過程における正式な議論の内容を知ることができます。その点で、本書は非常に貴重で意義深い資料であるといえます。

特別区自治情報・交流センターでは、「23区と地方自治の専門図書館」として、23区の行政資料や一般図書のほか、このような歴史的資料も収集しています。実際に手にとって閲覧することもできますので、興味のある方は、お気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



中野区



四聖堂(しせいどう)

円了の構想が具現化した学びの場

哲学堂公園は、哲学者で東洋大学の創立者、井上円了博士により、哲学や社会教育の場として明治37年に創設。円了は金銭や時間に恵まれず教育を受けられない市井の人々に対し、学びの中で未知なるものを解き明かし、物事の本質を見極め、自ら考えることで精神的な解放が得られるような機会や場所を設けました。

哲学のテーマパークを巡ろう

公園に点在する「哲学」を具現化した「七十七場」は、円了が著書『哲学堂ひとり案内』においてその“歩き方”を提示しました。散策することにより、哲学を理解するうえで必要な概念を学ぶことができます。



時空岡(じくこうこう)

「四聖堂」は哲学堂として最初に建てられた建築物で、公園の中心的存在。哲学の時間と空間の広がり表現した広場「時空岡」にはこの四聖堂をはじめ中野区の有形文化財に指定される古建築物が多く集まっています。哲学堂公園には時空岡のほか唯物論をテーマとした唯物園、唯心論をテーマとした唯心庭といった見どころがあり、周囲の自然環境を含めて公園全体が東京都名勝に指定されています。

区有形文化財12棟のうち、四聖堂、六賢台、絶対城、宇宙館、無尽蔵の5棟については毎月の第一日曜日、GW期間、10月の土日祝日に内部公開を行っています。

※四聖堂は回廊部、絶対城は建物入口からの観覧のみ

豊かな自然に癒される

武蔵丘陵の自然が残り、高低差や地形の変化に富む園内は、豊富な樹木と四季折々の花も見所です。春には区内でも有数の桜の名所として賑わいます。

平成21年には宗教・哲学・法を代表する人物の彫刻群「哲学の庭」が梅林部へ設置されました。人類の恒久平和の理想を追求した作者ワグナー・ナンドールの想いが込められた作品です。ぜひご覧ください。

「妖怪博士」井上円了が建立 哲学世界を視覚的に表現した 「哲学堂公園」

世界でも類を見ない精神修養のためのユニークな公園。中野区北部の和田山と呼ばれた広大な地、足元に妙正寺川が流れる風光明媚な場所にあります。哲学に由来する建造物や碑、池や坂などが点在する園内を巡るだけで「哲学体験」ができる、面白くてためになる散策スポットです。



唯物園(ゆいぶつえん)



宇宙館(うちゅうかん)



無尽蔵(むじんぞう)

円了は哲学の普及のため、30代から生涯にわたって全国巡講を実施。統計が残っている明治39年から大正7年までの13年間で、全国60市、2198町村において5291回の講演を行っています。それらの講演や揮毫(きごう)などで集めた資金を哲学堂建設のために役立てました。

全「七十七場」の場所、名称などの詳しい情報が掲載された「公園ガイドマップ」(210円)が管理事務所2階で販売されています。



狸燈(りどう)



鬼燈(きどう)



三祖苑(さんそえん)

哲学堂公園

所在地 中野区松が丘1-34-28
休園日 年末(12/29~31)
お問合せ 03-3951-2515
<http://www.tetsugakudo.jp/>

〈開園時間〉

3月~6月、9月 8:00~18:00
7月~8月 7:00~18:00
10月~11月 8:00~17:00
12月~2月 9:00~17:00
入園は、開園時間の30分前までになります。

哲学堂公園運動施設

野球場2面(軟式野球・ソフトボール)/人工芝テニスコート6面(硬式・軟式)/弓道場

とくべつクマ特別調査

23区の

ワン ツー スリー
1・2・3

大きな公園から
小さな公園まで、どんな
公園がどのくらいある
んだろう？



都市公園(都立+区立)数ランキング

1位 大田区(公園数 500)

2位 練馬区(公園数 453)

3位 世田谷区(公園数 414)

(出典)第36回 特別区の統計 平成28年度版(平成28年4月1日現在)における都市公園数。

1位は大田区。一つの区にあらゆる形態がぎゅっとつまっていて、東京の縮図とも言われているんだよ。そんな地域ならではの公園の特徴や魅力について、大田区役所都市基盤整備部の大橋さんと内山さんにお話を聞いてきたよ。



個性豊かな各地区に、特色ある公園がたくさん!

東は東京湾に面し、西と南を多摩川に囲まれた大田区は、平地や丘陵、空港・市場・工業地帯や物流地区も、高級住宅街や歴史ある寺社などもある、多様性に富むまち。公園もしかりで、それぞれに特色があり大変バラエティに富んでいます。



西六郷公園(蒲田地区)

有名なのは、古タイヤを利用した8mの大怪物がJRの電車内からもよく見える『西六郷公園(タイヤ公園)』。約3,000本のタイヤを利用した遊具やオブジェは、ファミリーはもちろん外国人にも大人気です。

海辺の公園は、運河を埋め立て新しく作られた大規模なものが多く、アクティブに楽しみたい人向けです。『平和の森公園』や『平和島公園』などには、各種スポーツの競技場、プールなどが充実。スポーツといえば多摩川河川敷。野球をはじめ区内外からの施設利用の申込みが後を絶たず、ジョギングや散策を日課にする人も多くみられます。

対する内陸側の公園は、水と緑にあふれ、文化的な見所も多いので、ゆっくり過ごしたい人向けといえます。『洗足池公園』はお花見の名所、珍しい野鳥が飛来する観察スポットとしても人気です。古墳の上にあり、巡りながら散策

できる『多摩川台公園』は、丘陵地を活かした見晴らしの良い眺めが多摩川八景に選定されています。

みんなで作るステキな公園

大型公園以外に、区内には面積約1,000㎡以下のいわゆる「児童公園」が343ほど点在しています。歩いて5分以内の場所にまんべんなく配置された地域住民のための身近な公園です。これらの公園の特徴として「ゴミ箱は設置していない」が「小さな公園でもトイレがある」ことがあげられます。特にトイレに関して、他地域から訪れた人は、設置してある数と清潔さに驚くそうです。

地域に根ざした公園を「自分たちの庭」として、市民グループの方々ボランティアで美化活動を行っています。区で行う「ふれあいパーク活動」に参加し、日常的な清掃・花壇作りなど行うこの活動は、昨年発足から15周年を迎えましたが、長く活動に従事してきた方の高齢化がすすむなどして、これからは「世代交替の時期を迎える」とのこと。また、数が多いため日頃あまり利用されない公園も中にはあり、「公園のあり方を見直し、時代のニーズに合った活用の仕方を考えていく」ことも課題となっています。魅力や価値が高められた未来の公園の姿に大きな期待が募ります。



大森ふるさとの浜辺公園(大森地区)

入江や干潟を持つ都内初の区立海浜公園。磯遊びもできます。



洗足池公園(調布地区)

勝海舟夫妻の墓などの史跡もあり、江戸時代から景勝地として親しまれてきた古の面影を見せてくれます。



萩中公園(雑谷・羽田地区)

公園には屋外・屋内のプールがあり年間を通じて利用できます。



平和の森公園(大森地区)

本格的なフィールドアスレチックがある区内最大級の公園。

お問い合わせは

公園の所在地により担当課が異なります。
各地区の担当課まで、お問い合わせください。

大森地区

地域基盤整備第一課
03-5764-0643

蒲田地区

地域基盤整備第二課
03-5713-1118

調布地区

地域基盤整備第一課
調布地域基盤整備事務所
03-3726-4320

雑谷・羽田地区

地域基盤整備第二課雑谷・
羽田地域基盤整備事務所
03-3741-1946

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。
※講座や企画の詳細は(公財)特別区協議会ホームページ(HP)をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間 平日|9:00~20:30 土曜日|9:00~17:00 日祝|休館
(公財)特別区協議会 HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

漱石山房記念館紹介展示

新宿区立漱石山房記念館

—新宿が生んだ文豪・夏目漱石—

主催 新宿区・(公財)特別区協議会

日時 平成30年5月15日(火)~6月21日(木)



新刊発行の おしらせ

■ 東京大都市地域の物語2

「東京23区 自治へのたたかい」の発行

昨年発行し大変好評をいただいた、東京23区の自治のあゆみを時代を追いながらたどる「東京大都市地域の物語」シリーズの1冊目「東京23区のならたち」に続き、このたびシリーズ2冊目となる「東京23区 自治へのたたかい」を発行しました。

昭和22年、新憲法と地方自治法のもと公選の区長・議会とともに特別区は基礎的な自治体として出発しますが、多くの権限は依然都に残されたままで実態は伴いませんでした。理念と現実のずれに直面し、特別区の自治権確立に向けたたたかいが始まります。

本書では、こうした動きの中で区側が必死に行った事務や財政をめぐる国・都との協議、地方自治法改正に対する反対運動のようすなど、自治へのたたかいの軌跡を、当時の資料や写真などを掲載しながら紹介しています。

たたかいの結果は、昭和27年の自治法改正で特別区の区長公選制が廃止されるなど、大幅な自治権の後退に終わりますが、その後の運動は今後発行予定の3冊目に続きます。

「東京23区 自治へのたたかい」は、特別区自治情報・交流センターで無料配布しているほか、特別区協議会ホームページでも全文をご覧ください。ぜひご利用ください。

●平成30年2月発行(無料)

HP http://www.tokyo-23city.or.jp/publish/seido_kanren/seitop.html

編集後記

今号の特集は、「春におすすめスポット」です。

春といえば、何を思い浮かべますか?もちろん人それぞれでしょう。でも、「花」から春を感じる人も多いのではないのでしょうか。

今回は23区の「花」の美しい場所が紹介されています。今号のスポットを参考にしながら、皆さんそれぞれの新しい春を感じていただければと思います。(H&F)



特別区自治 情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
開館時間: (4階)9:30~20:30
(土曜日は9:30~17:00)
休館日: 日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分